

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成 30 年 2 月 19 日（月）

午後 3 時 00 分 開会

午後 3 時 19 分 閉会

○ 場 所 第 3 常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	桃 原 朗
委員	宮 城 克
委員	山 城 康 弘
委員	濱 元 朝 晴
委員	我 如 古 盛 英

副委員長	伊 波 一 男
委員	石 川 慶
委員	伊 佐 哲 雄
委員	比 嘉 憲 康

○ 欠席委員（1名）

委員	桃 原 功
----	-------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（1名）

議事係長	中 村 誠
------	-------

○ 協議案件

MV-22 オスプレイの部品落下事故について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 30 年 2 月 19 日（月）

○**桃原朗 委員長** ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後 3 時 00 分）

【協議事項】

MV-22 オスプレイの部品落下事故について

○**桃原朗 委員長** 本件について委員会招集の請求があった我如古委員より、趣旨説明をお願いしたい。

○**我如古盛英 委員** 普天間基地所属機の事故や不時着が相次ぐ中、またしてもオスプレイの部品落下事故が起こっている。ぜひ宜野湾市議会としても、事故の大小、人身被害がない事故ということではなく、その都度声を上げるべきと考える。

○**伊佐哲雄 委員** これは大きな事故であり、普天間基地所属でもあるため、日程的には遅れているが、早目に抗議すべきことと考える。

○**宮城克 委員** 同じく抗議はすべきと考えているが、どのような形で抗議するかについては 1 度会派へ持ち帰り協議させていただきたい。

○**比嘉憲康 委員** 会派へ持ち帰り調整してみなければ何とも言えない。

○**桃原朗 委員長** 抗議をするといった方向性は同じものと思うが、委員からは会派へ持ち帰りたいといった意見もある。そのように進めてよいか。

○**伊波一男 委員** まずは委員会で取り扱うかどうかを確認していただきたい。その後、委員会として何をするのかといったことを持ち帰ったほうがよいのではないか。

○**桃原朗 委員長** 本件について委員会で取り扱うということでよいか。

（異議なし）

○**桃原朗 委員長** どのように要請するのかについてを各会派へ持ち帰り、今後は議会の日程も踏まえて、調整を進めてまいりたい。

○**我如古盛英 委員** 日程的には既におくれているということもあり、早目に進めるため文案は正副委員長、事務局でたたき台を作成していただきたい。

○**桃原朗 委員長** そのように進めてまいりたい。次回の委員会開催日について協議していただきたい。

○**山城康弘 委員** 文案調整も済んだ後、仮に直接抗議行動となった場合はどのようなスケジュールが考えられるか。

○**議会事務局** 2 月 26 日の開会日は午後 5 時くらいまでと見込んでおり、その後の質

疑や委員会の日も抗議する時間の確保が難しい状況がある。議決は26日に行い、要請行動については27日か28日の休会日のいずれかで行う必要があると考える。郵送対応となった場合は、議決日は必ずしも初日でなくてもよいものとする。

○**桃原朗 委員長** 要請方法や今後の日程等を会派へ持ち帰り、次回委員会において引き続き協議してまいりたい。

○**伊波一男 委員** 22日か23日のいずれかで委員会を開催し決定しなければ、要請のアポ取りなど、その後の日程が厳しいのではないかと。また、文案調整で時間がかかれば3月定例会初日に間に合わない可能性もある。その点も踏まえ、今後のスケジュールについて事務局の意見も伺いたい。

○**議会事務局** 早ければ次回は21日（水）に委員会を開催し、各委員へ正副委員長案として文案を示すことが可能である。文案調整にもよるが、そこで各委員の合意が得られれば定例会初日には余裕を持って準備することが可能である。そこで再度会派持ち帰りとなった場合は、23日（金）に再度委員会を開き確定する流れになるものとする。

○**伊波一男 委員** 21日については、一般質問の通告締切日と重なっており、3月定例会のボリュームからしても整理に時間を要するものと思う。そこで22日（木）の午前中に次回の委員会を開催してはどうか。

○**山城康弘 委員** 今22日（木）という提案があったが、会派の都合のより可能であれば午前9時から開催できないか。

○**桃原朗 委員長** そのとおりに進めてまいりたい。

○**議会事務局** 定例会初日に抗議決議及び意見書を提案する流れにあるが、3月定例会初日は市長の施政方針がある。記憶している中では施政方針前に決議した例はない。前後どちらがよいのかも含め持ち帰り協議していただきたい。

○**桃原朗 委員長** 意見書等の文案については次回委員会で配付し、その後は3月定例会初日に間に合わせる形で進めてまいりたい。直接行動か郵送対応かについては会派へ持ち帰り協議していただきたい。

【協議結果】

本件について持ち帰り会派調整の上、次回2月22日（木）の委員会で引き続き協議することに決定する。

○**桃原朗 委員長** 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午後3時19分）